



行政報告

市議会 6月定例会が6月6日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から主なものの要旨をお知らせします。

高卒就職希望者全員が就職

本年4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、0・56倍と依然として低い状態が続いているところですが、前年同期に比べると0・04ポイント増となりました。

一方、この春の就職状況は、市内高校卒業生の中で就職を希望した241人全員の就職が決定し、昨年度の就職率98・8%を上回りました。このうち、県内就



新入社員合同入社式(3月20日、プラザ杉の子)

職者は92人です。秋田桂城短期大学でも就職率は100%で、前年度に比べ2・2ポイントの増、秋田職業能力開発短期大学校では93・4%で、昨年度に比べ5ポイント減となりましたが、それでも高い数値を維持しています。

また、大館市工場等設置促進条例に基づく指定は、本年4月1日現在で60社、従業員数は4075人となり、昨年同期と比べて1社、191人の増となりました。特に、ニプロ大館工場、ニプロファーマ大館工場では新工場を建設中で、新たな雇用が見込まれています。

このように、新卒者の就職率や条例指定工場の従業員数が前年同期を上回ってきていることから、地域の雇用情勢に若干の明るさが見えてきたものと考えています。今後も関係機関や企業などと連携しながら、企業立地活動や「地域雇用創造推進事業」の活用などによる雇用拡大に、積極的に取り組めます。

農作物は平年並み

今年は、記録的な暖冬であったものの、3月下旬から4月にかけて気温が平年を

下回る日が多くありました。基幹作物である水稲は、播種後、気温が低い日が続いたものの、生育は順調で、作業も平年並みに推移しています。戦略作物の山の芋は、手作業による定植に先立ち、今回初めて3haほどの機械定植が行われました。アスパラガスの出荷は、一部低温被害が見られたものの、5月上旬から順調に始まっています。ネギも、夏ネギ、秋冬ネギとも作業が予定どおり進み、定植が完了しています。



アスパラガス



ネギ畑

「行革のまち大館」実現に向けて

「事務事業の再編、整理、廃止」では、花岡幼稚園の統合廃止、会費制の金婚式を実施したほか、保育事業の見直し、温泉施設の経営合理化、路線バスの維持、上下水道関連事業の一元管理など今後の方向を定める作業を実施しました。「民間委託の推進」では、平成20年度

以降に指定管理者制度を導入する施設の選定を進めていて、ヘニヤマ自然パークは、本定例会に条例の一部改正案を提出しています。

「人事改革」では、職員を前年度比24人減とし、約2億円の経費抑制を図り、また、一部フレックスタイム制を導入するなど、時間外勤務の管理にも新たな方法を導入しました。

「歳入の適正化」では、昨年10月から有料広告を導入するとともに、本年度からごみ処理手数料の見直し、自動販売機電気料の統一などを行うこととし、年間2500万円ほどの増収を見込むほか、公共施設の暖房費などの受益者負担についても見直すこととしています。

一方、歳出では、公共施設管理業務の共同発注入札、委託業務仕様の標準化など、これまでにない手法を駆使しながら、細部にわたり徹底的に節減する努力を続けてきました。

今後、大規模な機構改革による組織の効率化や市税体系の見直しによる税収の安定確保などに取り組み、「行革のまち大館」の実現に向け、全力で行財政改革を推進します。

小柄沢墓園の墓地増設

継続事業として昨年度から実施している小柄沢墓園の墓地増設は、工事が滞りなく進んでいて、本年7月末日までに規制墓地250区画と普通墓地84区画の合計334区画が完成する見込みとなりました。完成後、使用者を募集し、秋には供用を開始する予定です。